

平成29年度 市立川島中学校学校関係者評価（報告）

1 期日 平成30年3月2日（金） 午前9時30分から午前11時まで

2 会場 市立川島中学校 校長室

3 出席者 市立川島中学校学校評議員， 学校長， 教頭， 1～3学年主任

4 主な意見や感想

各学年主任から、今年度の課題への取組とその成果及び現在の生徒の実態を説明した後、学校から学校評価の分析資料を用いて概略の説明を行い、その後、学校教育目標や目指す学校像「五校」を踏まえてご意見を伺った。

(1) 進んで学び合う学校（学力向上の視点）

表現力の指導など教職員よりも生徒が「とてもそう思う」と回答している項目が多く、素晴らしい。また、保護者の約8割が学校の家庭学習の取組を評価しており良好な結果である。一方で、上手に伝える表現力は、生徒・教職員ともに8割を越えているが、保護者の評価は6割を切っており、中学生の時期の特徴と考えられる面もあるが、学校で発表の機会を増やすなどの取組を重ねていく必要がある。

(2) 人権を尊重し楽しい学校（仲間づくり・人権感覚を育成する視点）

行事等の工夫等により充実した学校生活や、生命や自他を大切にしている取組ができていると評価する生徒が、8割を越えており素晴らしい。また、好ましい友達関係やいじめや差別を許さない態度が育っていると評価する保護者が、9割を越えているのも素晴らしい。一方で、少数ではあるが、友人関係や学校行事等が充実していると思わない生徒がいることにも目を向けて、丁寧に取り組んで欲しい。

(3) 体を鍛え元気な学校（体力向上・健康管理の視点）

健康や規則正しい生活の指導に対して、生徒が9割を越える高い評価をしている。また、部活動に対しては、生徒も保護者も8割を越えて積極的に取り組んでいると評価している。駅伝練習にも部活動全体で熱心に取り組み、本番で各自が自己新記録を出すなど頑張っていた。部活動を通して、体力のみならず、人間関係やコミュニケーション力など社会で生きて働く力となる多くのことが身に付くのではないかと。部活動に応じた指導者の確保や生徒数減少による部活運営の問題、働き方改革など、学校だけで解決できないことも多いが、地域や行政等の他機関と、今後も連携しながら取り組んで欲しい。

(4) 礼儀正しく美しい学校（道徳心・勤労奉仕の視点）

礼儀等のマナーの指導については、生徒・保護者ともに9割近い評価である。学習環境の評価についても同程度であるが、保護者には、更に学校に足を運び学校の様子を見て頂くような工夫ある取組をすることによって、その数値は上がると考えられる。

(5) 規則を守り安全安心な学校（公共心・防災・学習環境整備の視点）

時間やきまりについては、生徒の9割以上が学校から指導を受けていると答えており、厳しくしつけていることが分かる。しかし、保護者の評価は8割を切っている。生徒が学校で規律ある生活をしているか等は、保護者は生徒からの情報によって判断するしかない。また、学校での姿ではなく、家庭での姿の評価とも考えられる。より正確な評価を得るための、アンケートの項目の設定や表現等の工夫も必要である。

(6) 生徒のこと、情報公開等、その他

生徒の評価は、自分自身を好きが4割を切り、学校生活に満足しているが7割を切っている。この傾向は日本の現状である。自尊感情を高めるためにどんな取組を行うか、検討する必要がある。また、学校の何に不満があるのかを、再問してはどうか。

5 まとめと課題

学校評議員の皆さんには、事前にアンケート結果と分析の資料をお届けし、ご意見やご感想をまとめて来ていただき、本校の課題に対して焦点化したご意見を多数頂戴した。

学校評議員として、学校行事への参加や授業参観、部活動の取組、生徒の日頃の生活態度などについて常に關心をもち、生徒に機会があれば声を掛けるなどして下さっており、生徒や保護者、地域の実態を踏まえた本校教育活動への貴重なご示唆をいただけた。特に、肯定的回答があまり高くなかった、子どもの自尊感情や将来の夢に関する内容については、次年度、小規模校だからこそできる取組も具体的に工夫し、少しでも改善したいと考える。また、今回いただいたその他の意見や提案についても、次年度の目標設定や具体的な活動計画に反映させ、地域に開かれ、すべての生徒や保護者にとって魅力ある学校づくりに努めていきたい。